

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 28 年度第 2 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 28 年 8 月 10 日 (水) 午後 3 時から午後 4 時まで		
開催場所	小金井市中間処理場事務所棟 研修室 I		
出席者	委員	<出席者：13 名> 渡辺会長・岡山副会長・大江委員・岸野委員・林委員・清水委員、 多田委員・黒須委員・石田委員・北澤委員・杉本委員、山田委員、 吉田委員 <欠席者：2 名>	
	事務局	西岡市長・柿崎環境部長・小野ごみ対策課長・藤田ごみ処理施設担当 課長・石阪中間処理場担当課長・富田・穂山・立川・佐藤・玉井・山 下・鴨下	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 会長・副会長の選任について 2 報 告 燃やすごみの処理量の昨年度との月別比較について 平成 28 年度 可燃ごみ処理の支援状況について 3 その他 清掃関連施設整備基本計画検討会議への委員の選出について 未活用資源（可燃ごみに含まれる資源化可能物）の有効活用方 策の調査・研究に関する小委員会の立上げについて		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他	次回開催予定 平成 28 年 10 月 20 日 (木) 小金井市中間処理場 事務所棟研修室		

審議過程（主な発言等）

<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>それでは、平成28年度第2回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。今回、委員改選により新たな任期の初回となるため、会長が選出されるまでの間、私が司会進行役を務めさせて頂く。</p> <p>また、本審議会の開催に当たっては、本来、会長が招集するところだが、会長選出前なので市長名にて通知させて頂いた。</p> <p>本日は、齋藤委員から欠席の連絡が入っている。</p> <p>それでは、事務局から配布資料の確認をさせて頂く。</p>
<p>玉井減量推進係主任</p>	<p>(配布資料確認)</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>それでは、委嘱に入る前に市長よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>西岡市長</p>	<p>本日は、平成28年度第2回小金井市廃棄物減量等推進審議会に参集頂き、感謝申し上げます。</p> <p>さて、小金井市の可燃ごみは、平成19年3月末をもって、二枚橋焼却場の全焼却炉の運転を停止して以降、多摩地域の多くの団体の厚意により現在も処理して頂いていることに御礼と感謝を申し上げます。</p> <p>そして、市政の最重要課題である新可燃ごみ処理施設の整備については、昨年7月に、浅川清流環境組合が設立され、平成32年度から日野市、国分寺市、小金井市の3市による共同処理の実現に向け準備が進められている。併せて、浅川清流環境組合が円滑稼動するまでの間、多摩地域の方々に可燃ごみの支援を頂かなければならない状況である。私も今の支援体制に向けて、精一杯取り組んでいる。</p> <p>また、ごみの発生量については、市民の皆さんや審議会の皆さんの尽力により、年々減少して来ている。皆さんの不断の努力に敬意を表するとともに、この場をお借りして感謝申し上げます。</p> <p>夏休み期間中、小金井市内の小学校・中学校10校で生ごみ投入リサイクル運動が行われている。私はこの全校を回って、ボランティアの方々や生ごみを搬入・投入して下さる市民の方々に直接会って意見交換をした。私も個人的に生ごみを南中と前原小に投入し、それから出来たりサイクル堆肥を家庭菜園で活用している。このような地道な取り組みを今後も続けて行きたい。</p> <p>今回、小金井市廃棄物減量等推進審議会においては、任期も改まり、平成28年7月より新たに選任され、就任頂いた委員の皆さん、また重任頂いた委員の皆さんに私から委嘱状を伝達させて頂く。</p> <p>秋からは平成29年度一般廃棄物処理基本計画の諮問をさせて頂く予定になっているが、審議会委員の皆さんには、今期から「可燃ごみに含まれる資源化可能物の有効活用」に関する小委員会を立ち上げて、ますます活発な活動を頂くことになるが宜しくお願いしたい。</p> <p>また、後ほど見学頂く予定の、ここ中間処理場と中町にある「空き缶・古紙等処理場」の施設など、清掃関連施設の再配置に関する「清掃関連施設整備基本計画」策定に当たっては、検討会議委員に当審議会から委員を選出頂くことになっているので、併せて高配をお願い申し上げます。</p> <p>今後も本市のごみ行政に建設的な意見を賜うことをお願いしたい。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>続いて委嘱状の伝達を行う。</p>

審議過程（主な発言等）

<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>(市長 委嘱状の伝達)</p> <p>市長は所用のため、ここで退席させて頂く。</p> <p>(市長退席)</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>委員改選後、初めての審議会となるので、委員の皆さんに渡辺前会長から、反時計回りで自己紹介をお願いしたい。</p> <p>(委員自己紹介・事務局紹介)</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>それでは、審議会会長を選出したい。先ず事務局から規定を説明させて頂く。</p>
<p>富田減量推進係長</p>	<p>(小金井市廃棄物減量等推進審議会規則 第3条第1項と第2項を説明)</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>それでは、只今から小金井市廃棄物減量等推進審議会会長の互選を行う。挙手にて推薦をお願いしたい。</p>
<p>清水委員</p>	<p>前会長であった渡辺先生を会長に推薦したい。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>他にいないようであれば、渡辺委員を会長に選出することで良いか。</p> <p>(承認)</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>それでは、只今選出された渡辺会長に挨拶を頂きたい。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>審議会の役割は、市がやっている事に対して、市民や専門家がお墨付きを与えたり、チェックをすることだと思う。しかし、それ以上に色々な視点から新たな意見等を集約するという役割が大きいのではないかと思う。よって、皆さんの活発な意見等を頂いて議論出来れば良いと考えている。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>これより渡辺会長に進行をお願いします。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>それでは、引き続き副会長の互選を行う。互選の方法については、同じく挙手にて指名推薦で行いたい。</p>
<p>大江委員</p>	<p>岡山朋子委員を推薦したい。ごみ減量・資源化分野での学識と経験から、日本を代表するお一人なので、渡辺会長をサポートするに相応しいと思う。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>他にいないようであれば、岡山委員を副会長に選出することで良い</p>

審議過程（主な発言等）

<p>渡辺会長</p>	<p>か。</p> <p>(承認)</p> <p>それでは、岡山副会長から挨拶を頂きたい。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>私は、名古屋市でおかえりやさいプロジェクトリーダーをしており、平成27年度の環境白書に載せて頂いている。スーパーやレストランなどの事業者の生ごみを堆肥化して、それを使って作った野菜をお帰りやさいという名称で、名古屋の市場に戻すという取組を8年程やっている。これは、簡単そうで簡単ではない。他の自治体に普及させて行こうとしたとき、同業他社で同じブランド力というようなことになるので理解を得るのが難しい。機会があれば、小金井市でもそのようなことができれば良いと思っている。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>それでは、審議会の進行について事務局より説明をお願いしたい。</p>
<p>富田減量推進係長</p>	<p>(小金井市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例第7条・規則・情報公開条例第5条第1項・小金井市市民参加条例を説明)</p> <p>欠席する場合は、開催日の2日前までに事務局に連絡して頂きたい。また、会議録については、発言内容ごとの要点記録とし、発言者名は公開する。発言内容の訂正については、会長と調整し、作成した会議録は、次回の審議会開催の1週間前までを目安に各委員に送付し、次回の審議会の冒頭で最終確認後、ホームページ等で公開する。会議録の作成上、発言は録音させて頂くので、発言の前に挙手して会長から指名された後に名前を添えた上で発言して頂くよう、協力をお願いする。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>事務局からの説明どおり、会議録については、今年度も発言者が分かる形での公開の取り扱いとする。議事を録音して、それを起こして記録するという形になるので、発言の前に自分の氏名を言って頂きたい。</p> <p>それでは、事務局より提出資料の報告と説明をお願いします。</p>
<p>玉井減量推進係主任</p>	<p>(「燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について」説明)</p>
<p>藤田ごみ処理施設担当課長</p>	<p>(「平成28年度 可燃ごみ処理の支援状況について」説明)</p>
<p>玉井減量推進係主任</p>	<p>(「平成27年度 ごみ処理量及び資源物回収量」説明)</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>これらの資料について何か質問等はあるか。</p>
<p>杉本委員</p>	<p>参考資料の26年と27年の可燃系ごみの比較だが、事業系と家庭系の割合は分るのか。啓発部会の中で見たデータの中では、可燃系ごみの中で家庭系はそれ程増えてはなくて、事業系の方が増えている</p>

審議過程（主な発言等）

<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>というニュアンスで受け取ったことがある。どういう施策を出さなければならぬのかというときには、重要な問題になると思うので教えて頂きたい。</p>
<p>林委員</p>	<p>平成27年度ごみ処理量及び資源物回収量の事業系と家庭系の分けだが、燃やすごみについては、月別比較で見て頂けるが、それ以外については今回用意していない。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>参考資料の市民1人1日当たりの処理量・回収量の表の可燃系ごみ298gというのは、家庭系だと解釈していたが、市民1人当たりとする時、事業系も合算して市民数で割るのか。</p>
<p>林委員</p>	<p>事業系と家庭系を分けて算出していないので、この中には入っているため、参考とさせて頂いている。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>「燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について」の表の年間平均実績値285.9gは、家庭系だけなのか。家庭系で議論する時は285.9gで、事業系も一緒にする時は298gと見て良いのか。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>そうだ。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>基本計画は、両方合わせた数字で設定しているのか。</p>
<p>林委員</p>	<p>家庭系だけだ。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>ならば、家庭系だけに絞った話をした方が良いのではないか。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>燃やすごみだけを議論するところではないので、参考として資源の回収量を出させて頂いた。例えば、それを市民1人当たり置き換えた場合は、この程度になるという参考値として見て頂ければと思う。そこには、事業系も入っている。</p>
<p>清水委員</p>	<p>他に質問等はないか。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>月別比較の資料だが、以前からこの資料が出されているが、以前は収集日の日数によって量の変動することもあるので、日数を表示しようということになっていたが、最近表示されなくなった。入れたほうがデータとして見易いと思う。平成27年度の中には閏年が入る。27年度は1日多く、今年度は1日少なくなる。そうすると0.3%程度ずれが出る。今、微妙なところで評価をしているので、日数を表記したほうが良いのではないかと思う。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>日数表記をできなくはないが、小金井市を10地区に分けて回収しており、地区によって量が違うので、単純に日数だけの問題ではない。</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>また、雨天の日は、袋に雨が入るので重くなる。よって、日数だけが増減の違いにならないのではないかと前審議会でも議論された。そこで、今回は敢えて日数を載せていない。しかし、変動の要因については、毎回出来る限り説明させて頂く。</p>
渡辺会長	<p>今のところ、家庭系は収集日数に因らないで、ごみ量が減っていると考えて良いのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>全体としては良い傾向なのだが、1人1日当たりを見ると目標達成に至っていない。</p>
吉田委員	<p>近隣市との比較はしているのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>26市の年間の比較はあるが、月別の公表はない。</p>
吉田委員	<p>比較して小金井市の現状はどうか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>多摩地域の中では、ごみの総排出量は一番少ない。</p>
吉田委員	<p>近隣市との比較で、近隣市はどう対応しているのか、何故小金井は良いのか、具体的な計画はどうか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>減量・資源化施策は、各市考え方が違う。小金井市は特に可燃ごみが非常に厳しい状況に置かれているので、皆さんの協力を得ながら計画を作って、その計画に沿って市民に実行して貰うことによって、1人1日当たりの総排出量が全国で一番少なく、資源化率も一番である。しかし、もっと減らす計画を立てているので、更なる施策を講じる必要がある。そこで、10月頃に平成29年度の計画を叩き台として諮問させて頂く予定だ。</p>
渡辺会長	<p>補足すると、このデータは10万人以上50万人未満規模の都市の中でということになる。他に何かあるか。</p>
北澤委員	<p>月別比較だが、可能であれば、何故増えたのか減ったのか、コメントを口頭ではなく毎月注釈を付けて頂けると分かり易い。今までは、数字の説明だけだったので、分析結果があれば分かり易いと思う。</p>
小野ごみ対策課長	<p>可能な範囲で検討したい。</p>
渡辺会長	<p>他にいかがか。ないようであれば、その他の事項に関して事務局に説明をお願いしたい。</p>
小野ごみ対策課長	<p>次第（1）の「清掃関連施設整備基本計画検討会への委員の選出について」だが、この中間処理場は、設置から約30年を迎え、平成1</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>9年の大規模改修後10年を経過しようとし、老朽化が著しい状況だ。</p> <p>また、庁舎建設予定地である中町の空き缶・古紙等処理場は、早急に移転する必要があるとあり、不燃ごみ・粗大ごみ・資源物の中間処理施設やストックヤード機能について、長期的視野に立って、安定的かつ効率的処理体制の確立のため、施設の再配置事業に着手する必要があることから、平成28、29年度の2ヶ年に渡り、「清掃関連施設整備基本計画」を策定することになった。</p> <p>再配置に当たっては、候補地である中間処理場と二枚橋焼却場跡地の周辺の皆さんとの丁寧な協議を経て、理解と協力のもとに進めていく必要があることから、今般「清掃関連施設整備基本計画検討会議」を立ち上げることになった。委員の構成としては、地元協議会からの代表各1名、市民公募から3名、学識経験者から2名、行政から環境部長、東京都から1名お願いする予定である。</p> <p>今回の整備基本計画では、処理量や処理方法の検討も行うため、学識経験者2名のうち一人について、この廃棄物減量等推進審議会委員の学識経験委員から、選出頂きたいと考えている。廃棄物に関する専門的な見識で検討会議を牽引して頂くとともに、減量等推進審議会とのパイプ役としても尽力頂きたいと考えている。そこで、事務局としては、他市においても、施設整備計画を取りまとめられた経験と見識のある、大江委員に就任頂けたらと考えている。当審議会でも、非常に難しい時期の会長を務められた実績からも最適任かと思うので、この審議会において了承下さるよう、お願いしたい。</p>
渡辺会長	<p>それでは、事務局の選出依頼について了承して宜しいか。</p>
	<p>(了承)</p>
渡辺会長	<p>それでは、大江委員に一言お願いしたい。</p>
大江委員	<p>このような施設整備などの問題は、地域住民の意見を吸い上げながら、より広い範囲での調整が必要なので難しい。しかし、ごみゼロ化推進会議の皆さんの中で知っている方もいるし、ずっと小金井に関心を持って見て来たので、この審議会とのパイプ役を務めながら、より良い整備基本計画作成に少しでも役に立てれば良いと考えている。</p>
渡辺委員	<p>それでは、次に事務局にお願いする。</p>
小野ごみ対策課長	<p>次第のその他(2) 未活用資源（可燃ごみに含まれる資源化可能物）の有効利用方策の調査・研究に関する小委員会の立ち上げについて説明したい。</p> <p>平成28年度一般廃棄物処理計画の施策の中に小委員会の立ち上げについて記載されている。これは、28年度の計画を作っていく過程で、審議会全体で生ごみ等を研究する分科会を立ち上げた方が良いのではないかと意見が多くあったので、項目として挙げさせて頂い</p>

審議過程（主な発言等）

<p>林委員</p>	<p>たものである。 検討期間は、皆さんの任期中である。 小委員会は、減量等推進審議会の中の専門委員会という位置付けになるので、小委員会に出席頂いた場合は報酬の対象になる。 研究頂くのは、生ごみと未活用資源の有効利用についてだ。例えば、可燃ごみの中には生ごみが半分程度含まれている。また、紙おむつもかなり重量があるので、対策は有効と考えられる。 研究のやり方だが、テーマを絞って、小委員会の中で議論して頂きたい。それをこの審議会で報告して頂きながら、平成29年度一般廃棄物処理計画をご審議頂く流れになっている。 メンバーの選定だが、専門委員会をこの審議会の中に置くことが出来るという規定になっており、会長が指名することになっている。希望者は事務局にお知らせ頂きたい。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>小委員会の件だが、一般廃棄物処理計画の中で、二つ小委員会を立ち上げる施策がある。生ごみの効率的な収集・有効利用に向けた調査研究と未活用資源の有効利用の調査研究の二つであるが、この二つの施策に対応した一つの小委員会を立ち上げるということか。</p>
<p>清水委員</p>	<p>そうだ。応募者数によっては、チームを分けることも考えられるが、会長と相談する。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>審議会と小委員会のスケジュールを教えてください。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>10月に29年度の計画について諮問させて頂く。それから、11月、12月、1月、2月の計5回審議頂いて答申をする。予算上、皆さん全員に参加して頂いても、小委員会開催は5回まで可能である。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>可燃ごみにどんなものが入っているのか調査研究することに興味がある人と、生ごみをどう分別して収集するか考えたい人に分かれると思う。家庭ごみの中に何がどれだけ含まれているのか分析調査させて頂くことが可能か。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>平成27年度の基本計画を発表したときに、袋から一つ一つごみを取り出して組成分析を行った。予算化をしていないので、やり方は検討だ。</p>
<p>林委員</p>	<p>計画の分別の徹底のところに組成分析が入っている。その中に可燃ごみの組成分析は年4回となっている。それはいつなのか。それを利用出来ないのか。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>皆さんは、ごみを開ける資格がない。私達は、清掃指導員として市長から許可されているので、ごみを開ける権利を持っている。組成分析を行う場合は、私達が開けたものを皆さんに見学頂くという形にな</p>

審議過程（主な発言等）

岡山副会長	<p>る。</p> <p>市が公的に組成分析を行っている現場を見学させて頂くだけでも随分違うと思う。</p>
杉本委員	<p>賛成だ。以前、組成分析に参加したことがある。良い勉強になった。燃やすごみの中に入っている生ごみは少ないが重い。プラスチックごみなどは多いが軽い。また、生ごみを別の袋に入れて、他の燃やすごみと分けている。きちんと分別できた形で出されている。そういうことが組成分析を通じて分った。</p>
藤田ごみ処理施設担当課長	<p>私は、可燃ごみの処理先との様々な交渉の担当として、他団体の施設に可燃ごみ処理をお願いしている。市の組成分析は、年4回何とか場所を借りて、委託でやらせていただいているが、現状で、これ以上の負担をお願いすることは難しい。</p> <p>なお、新施設が稼動すれば、私達も構成市なので見学可能かも知れない。</p>
杉本委員	<p>広域支援が始まってから、パッカー車ではなく、それ用の車を用意して、袋ごと集めて、分析するというをやったことがあるように思うのだが。</p>
小野ごみ対策課長	<p>それは、ここ中間処理場でやったが、ここは本来不燃ごみの中間処理施設なので、可燃ごみを開けてはいけない。地元の方との事前協議とご理解があって初めて出来ることだ。よって、今、この場で了承することはできない。</p>
岡山副会長	<p>あくまでも一つのアイデアだ。この委員会は10月以降に立ち上がることになるので、まだ時間がある。よって、今日はこの後、この中間処理場を見学して、その後、時間があれば、このことについて話し合っはどうか。</p>
渡辺会長	<p>人数が少なければ、そのメンバーで生ごみを検討して、その後、紙おむつなどを検討することになるかも知れない。人数が多ければ、同時並行でグループに分けてやるなど色々な形態が考えられる。</p>
林委員	<p>小委員会の件だが、本来ならば、例えば、其々の小委員会を5人ずつにするなど、枠組みが決まっいて、立ち上げるのが普通ではないのか。やりたい人は手を挙げて、若し全員が希望すれば予算の関係があるので回数が減るなど、希望する人には、どんな感じになるのか分からない。市のほうで枠組みをしっかり作っ立ち上げるほうが良いのではないか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>枠組みを決めてやるという選択肢もあるが、もともと委員の皆さん</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>からのご提案による設置なので、意向を伺った上で、という選択も想定している。全員参加したいという意見があれば、尊重したいと考えている。</p>
吉田委員	<p>希望はいつまでに、という期限はあるのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>近日中に手を挙げて頂きたい。</p>
清水委員	<p>審議会の位置付けになるが、基本計画や年度計画を精査する審議が多かった。そのため、その中で個別に生ごみの分別や色々なアイデアを審議する時間がなかった。所謂、市が作成した書類を審議するための審議会で、新しい施策を話し合う時間もなければ場でもなかった。それで委員の皆さんは自発的に検討したり、研究する機会がほしい、ということだと思う。だから、あまりかた苦しく煮詰めなくてもよいのではないか。</p>
杉本委員	<p>燃やすごみの中で、生ごみが40～50%占めている。紙おむつも相当減らせるのではないかと思う。剪定枝を集め始めたときは、燃やすごみがかかり減った。飽和傾向にあるので新しいことをやらなければ、燃やすごみの減量は難しいと思う。そういう意味では、小委員会でも色々な意見を集めてやっていくというのは、良いアイデアだと思う。</p>
小野ごみ対策課長	<p>中間処理場の見学だが、審議が延びたため、工場閉鎖時間の都合で、本日は見学出来ないことになった。</p>
渡辺会長	<p>それでは、小委員会について意見を頂きたい。事務局としては、今後、どのような手順を考えているのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>来週末までに、全委員から事務局に参加希望の有無を知らせて欲しい。希望の方には希望のテーマの提案もお願いしたい。</p>
林委員	<p>未活用資源というのは、生ごみと紙おむつに限られるのか、それとももっとあるのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>基本計画の92ページに燃やすごみの組成分析結果が載っている。これが私達が組成分析出来る最大の分類方法である。ここで厨芥類の調理くず・生ごみの割合が多いのが分る。紙おむつも多く占めている。また、燃やすごみの中に資源化できる紙も沢山入っている。よい対策があれば、小委員会で検討して頂きたい。</p>
林委員	<p>我が家では、燃やすごみの有料袋と、孫の紙おむつと分けて出している。これは、一緒に回収して、一緒に燃やしているのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>そうだ。</p>

審議過程（主な発言等）

<p>渡辺会長</p>	<p>厨芥と紙おむつだけではなく、他にもあれば小委員会で検討して頂くのが良いかと思う。資源化ということを考えると、紙おむつよりも紙のほうがやり易いはずだ。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>有機性廃棄物という言い方をすると、廃食油を分別して回収できるとそのままエネルギーになるので非常に大きな取り組みになる。そういうことができるかどうか、調査研究できるのか、出来れば意義があると思う。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>廃食油も可燃ごみに入っている未活用資源だ。組成調査してもなかなか検出しにくい項目の一つだ。 では、事務局から他に連絡事項はないか。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>次回の審議会は10月25日火曜日18時から開催予定だ。場所は追って連絡する。欠席の場合は2日前までに連絡を頂きたい。 新しい委員の方もいるので、勉強会を10月25日までに開きたい。希望者は来週中に事務局まで連絡頂きたい。審議会とは別なので報酬はない。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>それでは、本日はこれで閉会とする。</p>

以上